

科目	理学療法技術特論Ⅱ	担当	林 久恵、越智 亮	履修学年	4年
時間数	90分×時限×8回(週1回)	履修区分	必修	単位数	1単位
<p><b>【授業目標・到達目標】</b>  臨床現場におけるリスク管理を、患者側と医療従事者側の両側面から講義する。具体的には、患者の安全管理として人工呼吸器、IVH、各種ドレーン等を装着した患者の対応について学習し、医療従事者の安全管理として感染事故対策について学ぶ。また、患者の急変時の救急対応についても実習を取り入れて学習する。</p> <p><b>【履修注意】</b>  講義毎に内容が大きく異なるため、欠席しないように心掛けること。</p> <p><b>【評価方法】</b>  出席状況、受講態度等を総合的に評価する。</p> <p><b>【試験について】</b>  実施しない</p> <p><b>【予習・復習】</b>  理解できなかった部分については、自ら積極的に調べ直すとともに、担当教員に質問し解決すること。</p> <p><b>【教科書】</b>  教科書は指定しない  プリントおよびアクティブアカデミー経由で提示する資料を使用する</p> <p><b>【参考書】</b>  講義中に適宜紹介する</p> <p><b>【その他の注意事項】</b></p> <p><b>【授業計画・内容】</b>  1 理学療法士と感染対策  ノロウイルス・インフルエンザ・身体接触・院内感染・感染事故  2 理学療法士と感染対策  感染対策の留意事項・感染対策の基本的な手技(手洗い・手袋・マスク・ガウン)  3 患者の安全管理  人工呼吸器について・呼吸管理の実際・患者安全管理・各種血液浄化法  4 患者の安全管理  心疾患・ペースメーカー・経皮的冠動脈形成術(PCI・STENT)・補助循環・人工心肺  5 患者の安全管理  創傷について、褥瘡・皮膚潰瘍への対応、深部静脈血栓症予防  6 救急対応  演習  7 トピックス  グループワーク</p>					